

# 日野市オリジナルの生ごみたい肥化容器 「段ボールコンポスト」を始めよう!

## 市民のページ

ごみ減量推進市民会議が企画・編集したコーナーです。

## 知恵袋

ごみ減量推進市民会議とは、「日野市ごみゼロプラン」を実行に移していく会議で、市民約20名で構成されています。



Part 22

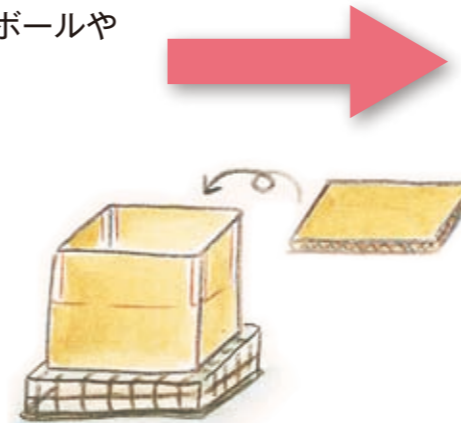
### ①用意するもの

- 段ボール
- 基材（竹パウダー15ℓ）
- 布製カバー
- シャベル（できれば段ボールを傷つけない木製のものがよい）
- 風通しをよくする台（花屋さんでもらえる網状の苗入れが便利）



### ②はじめる前の注意

- 段ボールの補強のため、底にもう3枚段ボールやベニヤ板などを切って敷きます。
- 竹パウダーを段ボールの中に入れます。
- 雨の当たらないところへ置きます。
- 竹パウダーは乾燥しているので、水を2ℓくらいかけてください。
- 箱の下は湿気がこもりやすいため、風通しのよい台にのせます。
- 虫よけ用の布製カバーをつけます。



### ③生ごみを入れる

- 入れる量は最大1日500gくらいまで。
- できるだけ細かく切ったほうが生ごみの発酵が早く、よく分解します。
- 貝殻や硬い骨など分解しにくいものは入れないでね!



### ⑦熟成たい肥の完成

- 熟成中も2週間に一度くらいかき混ぜ、生ごみの臭いがなくなれば熟成たい肥のできあがりです。
- たい肥1に対して土4の割合でよく混ぜ、石灰(カキガラ石灰がベスト)を入れ、土を中和してから野菜や花を育てましょう!  
(カキガラ石灰は園芸屋さんなどにお問い合わせください)



### ⑥熟成（約2ヶ月）

- 生ごみを入れ続けると、約3ヶ月で分解が遅くなり、基材のさらさら感がなくなります。そうなったら生ごみ投入をやめ、別の段ボールなどに移してフタをし、約2ヶ月間ねかせます。
- 空いた段ボールに、新しい竹パウダーを入れて再スタートです!



約3ヶ月  
入れ続けます



### ⑤微生物による分解

- 微生物は水分50~60%が繁殖しやすいため、乾きすぎず、濡れすぎず、ちょっと湿った感じを保ちましょう。
- 40度以上の発酵熱が出れば順調に分解しています。
- 夏季は虫が発生しやすいので、必ず①の布製カバーをして下さい。
- 冬季は微生物の活動が鈍くなり分解が遅くなります。米ぬかや天かす、コップ1杯程度の廃油などを入れると温度が上がります。

### ④よくかき混ぜる

- よくかき混ぜて空気を供給することで、微生物の活動を促します。
- 四隅にもまんべんなく空気が行き渡るように、できれば毎日かき混ぜてね!



### 竹パウダー（竹粉）とは？

生の竹を植織機などの特殊な機械にかけて繊維状（パウダー状）に細かく粉碎したものです。生ごみをエサとして分解してくれるのは微生物ですが、竹パウダーは繊維状で柔らかいため微生物が住みつきやすく、糖分やミネラルが豊富なので、乳酸菌や放線菌などの微生物が繁殖しやすいという特徴を持っています。

### 段ボールコンポストセット内容

- 基材（竹パウダー 15ℓ）
  - 組み立て済みの段ボール箱（縦:約35cm×横:約30cm×高さ:約35cm）
  - 布製カバー
- セット価格(税込み)1,250円  
(配達費用を含む)

※日野市の生ごみ処理機器等購入補助後の価格



### 別売り品

必要に応じてお買い求めください

- 基材（竹パウダー 15ℓ） 1,000円
- 組み立て済みの段ボール箱 1,000円
- 布製カバー 1,000円

※価格はすべて税込み・配達料込みです。直売の場所などについては、ごみゼロ推進課にご相談ください。

### 申込先

市内福祉施設の「第2すずかけの家」が製作・配達等を行っています。

### 第2すずかけの家

東京都日野市神明1-11-12

TEL 080-3175-1144 FAX 042-591-7569

E-mail [suzukake@mail.hinocatv.ne.jp](mailto:suzukake@mail.hinocatv.ne.jp)

※ご注文から休業日を除いた10日以内でお届け致します。  
(土・日・祝日・お盆・年末年始休業) 申込時間9:30~17:00